

料理体験を通じた日本の魅力発信事業概要

【なぜ今、中国で日本料理体験か】

- ✓ 2017年の中国人訪日旅行者数は約736万人。外国人訪日旅行者のうち4人に1人が中国人。
 - ✓ 訪問先は、東京～富士山～京都～大阪の「ゴールデンルート」に集中。今後は地方訪問の広がりが期待。
 - ✓ 観光庁の訪日外国人消費動向調査によると、中国人訪日旅行者は「日本食」への関心が高い。
- ⇒中国人が高い関心を持つ日本食を通じて、あなたの自治体をPRしませんか？

【事業の特長】

- ✓ 「ABC Cooking Studio」との連携により、日本食への関心や訪日旅行のリピーター率が高い中国人への訴求が可能！
(「ABC Cooking Studio」は日本国内における125か所のほか、中国(香港を除く。)でも13か所で料理教室を展開しており、その会員の多くは日本への関心が高い富裕層。)
- ✓ 郷土料理や名産品のPRを通して、体験を通じた販路拡大の機会とすることが可能！
- ✓ 参加者や「ABC Cooking Studio」のSNSによる情報拡散が可能！
- ✓ 講師依頼、会場借り上げ、集客、食材調達などに係る費用の自治体負担なし！

【事業実施方法】

自治体

①自治体募集



②申し込み

自治体国際化協会
北京事務所

④事業実施

ABC
Cooking Studio

- ・郷土料理レシピの提供
- ・観光PRを行う職員の派遣
- ・名産品の提供 など

③協力自治体の決定

- ・参加者募集
- ・プロ講師による料理教室
- ・会場提供
- ・食材調達



「ABC Cooking Studio」による料理教室